

コスモス健康通信

成人が失明する原因第1位！～糖尿病網膜症～

最近、糖尿病・高血圧・高脂血症が重複するメタボリック症候群がにわかに報道され、注目を集めています。特に、糖尿病は増え続け、今や日本人の10人に1人が糖尿病、もしくは糖尿病予備軍といわれています。

Q. 糖尿病とは？

糖尿病とは、血液中の糖分が多すぎる状態が続くことをいいます。血糖値が高い状態が続くと、血管が硬くもろくなり、合併症を引き起こします。これを『糖尿病の3大合併症』といいます。



Q. 糖尿病の3大合併症とは？

◎ 糖尿病網膜症

眼の奥にある網膜の毛細血管がもろくなり、出血を起こします。

◎ 末梢神経障害

末梢神経に障害をきたし、手足のしびれ、傷やヤケドに気づかない、こむら返りなどの症状が出ます。また、発汗異常、排尿困難、便秘や下痢を起こしやすくなります。

◎ 糖尿病腎症

腎臓の糸球体と呼ばれる器官の毛細血管に障害がおき、尿中にタンパク質が出てきたり、腎性高血圧や進行すると腎不全から透析が必要になったりします。

糖尿病と診断を受けた方は、定期的に眼科を受診して検査を受けましょう。

糖尿病は、初期症状がないために気づかずに放置してしまいがちですが、放っておくと合併症を引き起こす怖い病気です。きちんとコントロールすることが大切です！！

糖尿病網膜症におけるQ & A

今回は、糖尿病の合併症である糖尿病網膜症についてお伺いしました。

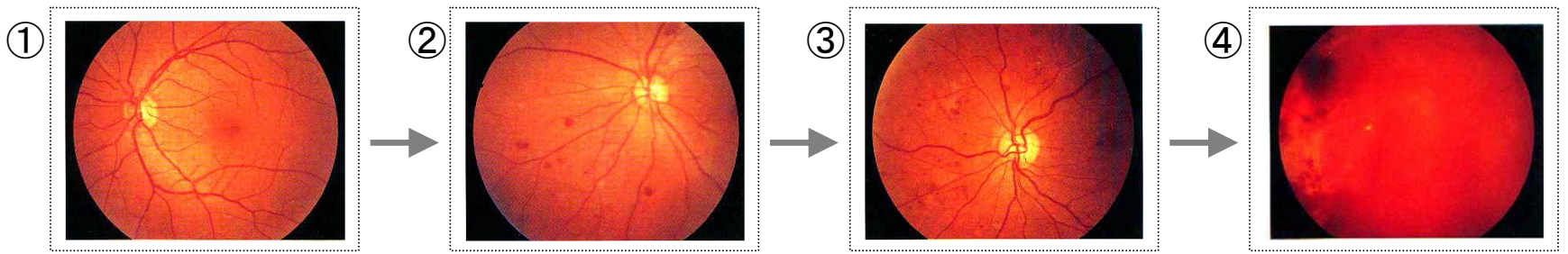
Q. なぜ糖尿病網膜症になるの？

- A. 網膜は、カメラでいうとフィルムに相当します。糖尿病で血糖値が高い状態が続くと、網膜に密集している細かい血管に大きな負担がかかってもろくなり、網膜がダメージを受けます。

Q. 自覚症状はあるの？

- A. 網膜症は徐々に進行しますが、かなり進行しても自覚症状はありません。網膜の循環が悪くなり、増殖性の変化が生じるようになります。多くの場合、網膜症が進行してはじめて、視力低下・霧視(かすみ目)などが生じます。進行すると治療が困難となるため、早期発見・早期治療が大切です。

Q. どのように進行するの？



- ① 正常です。出血も白斑はくはんもありません。
- ② 出血が散在していますが、自覚症状はほとんどありません。
- ③ 出血が増えて、白斑も散在しています。それでも自覚症状はほとんどありません。
- ④ 硝子体出血しょうすたいが生じて、眼底の様子が分かりません。飛蚊症ひぶんしょうや高度な視力低下を生じます。

※飛蚊症: 明るい所や白い壁、青空などを見つめた時、目の前に虫や糸くずなどの『浮遊物』が飛んでいるように見える現象です。

Q. 眼底検査・蛍光眼底撮影検査とは？

- A. 眼底検査は、眼底の様子を観察するもので、網膜症の発見に必要です。

蛍光眼底撮影検査は、造影剤を静脈注射した後に眼底写真を撮影して、水の溜まり具合や網膜の循環の悪い部位や血管の異常を観察します。

Q. 治療方法は？

- A. 網膜の循環改善をはかる内服治療、網膜の細胞とその酸素や栄養のバランスを改善させる網膜光凝固(レーザー治療)、増殖組織などを取り除く硝子体手術などが挙げられます。

治療方法も、網膜症の進行の状態によって違ってきます。